

令和5年度 西城小 学校努力点

学ぶ楽しさ、できる喜びを感じることが出来る児童の育成
～ 協働的に学ぶ「ピア・ラーニング」に重点を置いて～

3年生のめあて

- ・ 自分の課題を見付けることができる。
- ・ 課題を解決するために、ピア(同じ目的をもつ仲間)と練習方法を選ぶことができる。

子どもたちの



できるようになりたいな！

やってみよう！



を引き出し、主体的に学習できる体育科の授業

技チェックカード

展開図や動画を基に、技のポイントを自分で書き込み、そのポイント进行评估する場を設定し、ピアとの練習に役立てることができるようにする。

めあて・練習メニューの設定

自分でめあてを考え、ピアとどの練習をするかを選び、主体的に活動できるようにする。

ピア・ラーニングの様子

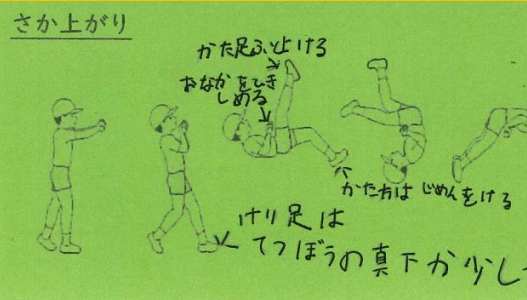
次のめあてへ

⑤ピアと ふりかえる

肘をぐっと引いたら
ぐるりと回ったよね！



①技のポイントを書き込む



10月10日(火) ()組()番()

めあて いろいろな技を知ろう。
 ちょうせんした技 ふたの丸やき、さか上がり、とび上がり
 【ふり返り】とび上がりは思ったよりかんたんだった。さか上がりは先生に手伝ってもらってできた。ふたの丸やきはぶらさがるのはできたけどきん肉バーションはむずかしかった。さか上りを一人でできるよ。
 10月12日() 下り技にちょうせんしよう。やりたい！

月 日() もっと練習しよう。

めあて さか上りの ~~まわ~~ ができるようにしたい。
 練習メニュー ⑦②⑥
 【ふり返り】さか上りはほし台でべるとをぶらたらべるとだよりまわけるはいいが、さいからでせん、かた。ほし台だけでもできた。君は、できていてすごいな。
 と思った、つぎは、こうもり下りをする。

②めあてを立てる

こうもり下りがあと少し
できそうだよ！



めあて 前回りやこうもり下りができるようにしたい。
 ちょうせんした技 こうもり下り。
 【ふり返り】こうもり下りは、りょうひさをうつぼうにかけるときはでさたけど、マットを手につくことはこれくてもできなかった。今度はゆう気を出してマットに手をつきたい。こうもり下りのゴリは足をかけて手をマットにつくときに自分の体をささげられることだと思おう。
 10月17日() 上がり技にちょうせんしよう。

月 日() もっと練習しよう。

めあて こうもり下りができるようにしたい。
 練習メニュー ⑨④
 【ふり返り】こうもり下りは足をかけることもでき、手をマットにつくこともはじめてできました。こうもり下りで足をかけたあつちがなくて一人ではじめて足踏み回りをすることができました。君に足をおくまでいれるといいよとアドバイスをもらいました。今度はとび上がりとかうもり下りを発気しようと思ひます。
 月 日()

めあて さか上りをチェックしよう。
 ちょうせんした技 さか上がり。
 【ふり返り】さか上りはかた足をふり上げるのはできたけど、みじを曲げておなかをてつぼうにひきよせるのはできなかった。君は、足がふれていたから、みじを曲げて、おなかをてつぼうにひきよせたらできるんじゃないかと思ひました。

めあて 技を組み合わせて発表しよう。
 【ふり返り】とび上がりとかうもり下りを合わせると足を下ろさないからいいよとむすひた。はじめはとび上がりしかできなかったからてつぼうは楽しくなくて、でもい後はいろいろなわざができててつぼうが楽しくなりました。またてつぼうをせりたいと思ひました。

④ピアと 技チェックをする

さか上りの できるポイント	チェックした人
① かた足をふりあげる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
② けり足はひきしめて真下から出す	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
③ おなかをひきしめる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>



前回の授業よりも上手になって
いるよ。すごい。

③ピアで練習メニューを考える



どの練習をした
らめあてを達成
できるだろう？

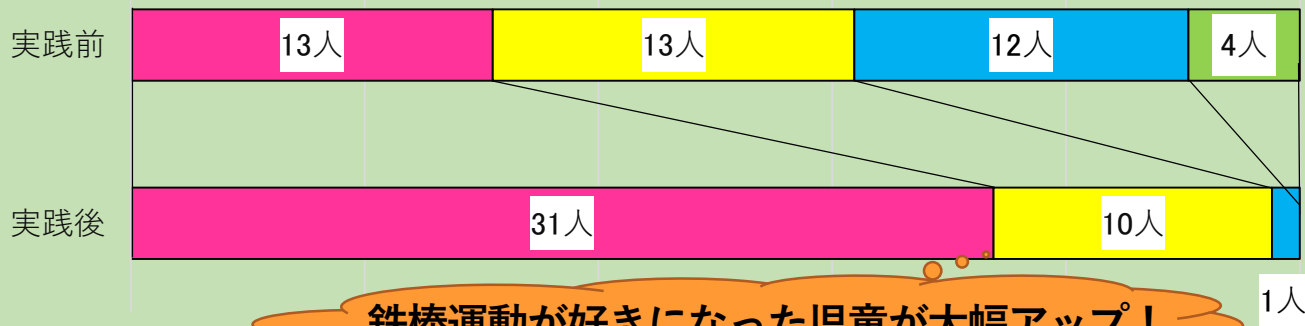
動画で撮影する
とスロー再生で
できるよ。



児童へのアンケート

鉄棒運動は好きですか。

■とてもそう思う □まあまあそう思う ■あまりそう思わない □全くそう思わない



鉄棒運動が好きになった児童が大幅アップ！

児童の感想

始めは、「跳び上がり」や「豚の丸焼き」しか技ができなくて、鉄棒ってあまり楽しくないと思っていたけれど、最後にはいろいろな技ができて、鉄棒ってこんなに楽しいんだ、練習すればできるんだと思いました。

「だるま回り」を知らなかったけれど練習していくうちにできるようになって、学習してよかったなと思いました。鉄棒運動は、いろいろな技があって、くるくるしていると気持ちいいし、みんなで練習できるのが楽しかったです。

取り組みを終えて

- 「技チェックカード」に技のポイントを書き込んだり、動画を基に評価し合ったりすることで、児童は技のこつに気を付けたり、自分のできていないことに合わせて練習したりすることができた。
- ピアでめあてを考え、練習メニューを選んだことで、児童は進んで練習に取り組むことができ、達成感を得ることができた。
- マットや補助台、ベルトなどを用意したことで、児童は安心して練習したり、段階的に技を習得したりすることができた。